



津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



2022～2023

例会日/毎火曜日
例会場/オホーツク 津市大門7-15
事務所/津市大門7-15
津センターパレス3F
TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/西井 健之
幹事/庄司 正樹
E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp
ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

第2659回例会 2022年7月26日(火) 天候 晴

—— 8月は会員増強及び拡大月間 ——



例会予定

- 8月2日(火) 皆出席表彰・月間関連卓話
竹内敏明会員増強委員長
- 8月9日(火) 会員卓話 何川 高会員
於:「オホーツク」
- 8月16日(火) 特別休会
- 8月24日(火) 外来卓話
横浜市立大学 名誉教授 長谷川 修様

進行担当 [伊藤(仁) SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング それでこそロータリー

来訪者 [西井会長]

ガバナー補佐 中井 茂平様

出席報告 [宮崎委員長]

7月26日 出席率 41名中 27名 65.85%
7月12日 修正出席率 41名中 41名 100.0%

ニコBOX [野地副委員長]

- 中井 茂平様 期首訪問させていただきます。一年間宜しくお願いいたします。(ガバナー補佐)
- 西井 健之君 本日は、2630地区中勢伊賀グループガバナー補佐の中井様をお迎えしております。よろしくお願ひ致します。
- 庄司 正樹君 中井茂平ガバナー補佐様をお迎えして、本日は宜しくお願いいたします。
- 村木 正二君 中井アシスタントガバナー (AG) 様、本日は大変お世話になります。

会長報告 [西井会長]

- ◆ 本日は、中勢・伊賀グループのガバナー補佐である中井茂平様をお迎えしております。どうぞ宜しくお願い致します。中井様には後ほどご挨拶をして頂きます。又、例会終了後、クラブ協議会を開催致しますのでご出席の皆様、宜しくお願い致します。
- ◆ 扱て、今日はポツダム宣言記念日です。1945年7月26日ベルリン郊外のポツダムでアメリカ、イギリス、中国の30ヵ国首脳が日本に無条件降伏を迫る「ポツダム宣言」を発表しました。日本政府はすぐには受入れず、広島、長崎への原爆投下、ソ連の参戦により、8月14日にポツダム宣言を受諾しました。翌15日、昭和天皇の「玉音放送」で日本の敗戦を国民に伝え第二次世界大戦が終結しました。

幹事報告 [庄司幹事]

- ★ 本日、短縮形式での例会開催の件
- ★ 本日、例会終了後、クラブ協議会開催の件
- ★ 8月9日(火)「オホーツク」納涼夜間例会から昼間短縮例会に変更の件
- ★ 新会員2名(西田義明氏、松田直久氏)入会の件
- ★ 9月14日(火) ガバナー公式訪問例会の件 (9月13日(火) → 9月14日(水) 変更)

中井茂平ガバナー補佐様をお迎えして、!

宮崎 吉史君、日南田隆司君、伊藤 孝行君
樋口 直人君、鈴木 康義君、今野信太郎君
大熊 将弘君、何川 高君、山本 哲司君
羽根 昌江君、竹内 敏明君、刀根 大士君
伊藤 仁君、飯田 聡君、岡部 宏司君
奥田 邦雄君、吉村 哲夫君、栗田 明君
中村 充孝君、岩井 純朗君、薄井 美弥君
野地 洋彰君、飯田 和博君

2022年度 期首クラブ訪問に当たって



国際ロータリー第2630地区 中勢伊賀グループ
2022-2023年度 ガバナー補佐 中井 茂平 様

皆さん、こんにちは。高い席から失礼いたします。当年度7月1日から前年度山口ガバナー補佐に替わり、中勢伊賀グループのガバナー補佐を拜命いたしました上野東ロータリークラブの中井茂平と申します。こちらのクラブもガバナー補佐の大先輩の別所様、松田様がお見えです。どうか宜しくお願い申し上げます。

5年前の田山ガバナー時には地区代表幹事を仰せつかり、中勢伊賀グループの各クラブの皆様には大変お世話になり、何かとご協力いただきありがとうございます。

実は、今回、我がクラブから選出させていただいたガバナー補佐が、今年5月から病気治療に専念することと、急遽私が替わりを務めさせていただくこととなりました。私がガバナー補佐としまして承認されましたのは、一か月程前の6月11日の地区諮問委員会であります。他のガバナー補佐の方々は、一年前からAGCC研修を終えて何カ月も経っていますが、私は未熟者でございますので色々と至らぬ点につきましては、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

私の簡単な自己紹介を申し上げますと、私はロータリークラブに入会して20年となります。生まれは、伊賀市（旧上野市）で高校まで伊賀で育ち、東京の大学に入り、就職も東京にてその後福岡、札幌と転勤しまして、40歳の時にご縁がありまして地元伊賀のガス会社に入社させていただき現在に至っています。

私の会社は、創業95年で上野ロータリークラブの創設企業です。当初は、上野ロータリークラブの事務所があったそうです。小さな会社ですが、現在ロータリークラブには関係会社を含めまして5名の会員が入会させていただいています。

次に私の所属する上野東ロータリークラブのことを申し上げますと、創立42年です。地域の皆様と共に歩ませていただいています。一昨年の40周年時に青少年育成の周年事業としまして「新日本フィルハーモニー交響楽団」と「上野高校吹奏楽部」の皆さんにて、伊賀市文化会館での無料の「ドリームコンサート ファイナル」の開催を目指

してまいりました。しかし日本中がコロナ禍であり、感染拡大防止の為、やむなく中止となりました。高校生も私達も新日本フィル様も関係者一同本当にガッカリしています。これは地区では地区大会が、皆さまのクラブでも例会や行事が中止となり、ロータリーとしての奉仕事業の展開に大きな支障となっていることと思います。

世界中に新型コロナウイルスが感染拡大し産業を始め企業、個人を含めて多大な影響を受けています。コロナが何年も続くことによるロータリークラブへの影響をまとめますと、個人的意見ですが、①例会が中止や短縮となり、コミュニケーション不足となっているのでは？ ②ロータリーとしての奉仕活動が衰え、目的意識が希薄となっているのでは？ ③ロータリーとしてのクラブルールの利用や引継ぎが曖昧となっているのでは？の3点が見受けられると考えます。皆さまは、如何お考えでしょうか？

さて本題の当年度の国際ロータリーと第2630地区としましての本年の方針等を申し上げます。すでに会長さんや幹事さんからお聞きのことと思いますが、ご確認、情報共有という点にてご容赦下さい。

国際ロータリーの2022-2023年度の年次目標としまして「ロータリーのビジョン声明」が示されています。これには、4つの優先事項があります。まず「より大きなインパクトをもたらす」→抜粋ですが、ポリオ撲滅が目的です。次に「参加者の基盤を広げる。」→影響力を持った人々、目的に基づき行動する人々、世界を変える行動人としてロータリーの国際的な立場を向上させるとあります。「世界」を地域に「国際的」を地域的にと読み替えますと私達のミッションが明確になると考えます。3番目は「参加者の積極的なかわりを促す」→個人的成長、リーダーシップ開発、奉仕、ネットワークづくりの機会を通じ、ロータリーの中核的価値観を支える会員の参加促進です。慣れない言葉が多いですが、この中核的価値観とは、[親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ]を意味します。4番目は「適応力を高める」→ロータリーファミリーの全てのリーダーシップレベル

で多様性、公平性、インクルージョン（誰でも受け入れる排斥のない社会）ができるように取り組みを強化する。とあります。昨年度からの継続事項もありますが、当年度はこのような年次目標の推進を図る予定です。

当年度の会長は、カナダのジェニファー・ジョンズさんという女性です。テーマは、「イマジンロータリー」ビートルズ世代には、嬉しいテーマだと思います。＝「想像してください。」「私達がベストを尽くせる社会を」です。「ポリオのない世界」や「みんなが安全な水を飲める世界を」、「疾病のない世界を」、「全ての子供が読める世界を」。そして差別や排斥しない公平な社会を求めています。ロータリーとして過去から努力してきた課題や目的のファイナルを皆さんに創造してくださいと会員の皆さんに呼びかけています。あと一息だと思わせる素晴らしいテーマだと考えます。

そして第2630地区高橋ガバナーは、「ロータリーの心と原点を大切に、描こう明るい未来を」を地区スローガンに副題としまして「ロータリアンの成長が日本のロータリーの未来を創る」とあります。ご逝去されました2002年度服部芳樹ガバナーのご指導を強く受けられたそうです。「入って学び、出でて奉仕せよ」の精神のもと「超我の奉仕」を胸に奉仕の実践に努め、自己を磨き、高い職業倫理基準と道徳心を持った「真のロータリアン」を育てるとあります。このように当年度は、人材育成に重点を置いておられています。

ロータリアンとしての人材、果たしてこれは何か、どうすれば良いかと私なりに申し上げますとロータリークラブの一員としての組織、委員会の担当役割を一年ごとに責任を果たし、充実感や達成感を得ることではないでしょうか？ 又、ロータリークラブの中で認め合うだけがロータリアンではなくて、自身が個人や会社としても何か行動して世間の方々にロータリアンとして認められてこそ「真のロータリアン」ではないでしょうか？と考える次第です。ですのでロータリーバッチを付けているのではと考える次第です。

例えば僭越な事例ですか、弊社は15年前に地域貢献室を立ち上げ、入社5年以内の方々に兼務業務とさせていただきます。又、ガス販売におきまして「子供さんが3人お見えでしたら▲3%のガス料金を値引きさせていただきます。4人ですと▲4%、5人ですと▲5%のガス料金をそれぞれ5年間値引き」させていただきます。私どもの持ち出しですが、社内では少子化対策メニューと呼ばれています。日本中のガス会社には、

この制度を導入している都市ガス会社、LPガス会社が他に無いのが残念です。

又、地域の高齢化対策としましては、ガスに関係するグループ社員160名が、全員伊賀市の認知症サポーター教育を受講してサポート資格を所持しています。認知症の方々のお役に立てればと考えます。これらの事例はロータリーに入会させていただいて職業奉仕、社会奉仕の勉強や意識がなかったら多分実行できていない料金メニューや会社対応のことと考える次第です。

ロータリーの戦略計画の3つの優先事項の中に3番として「公共イメージと認知度の向上」とあります。皆さまも何年もお取り組みいただいていると考えますが、公共イメージと認知度の向上については、クラブの奉仕活動をマスコミやSNS等で地域の方々に広報して認知度を上げてゆくことが主眼と考えます。さらにそういったことを支えるのが私達の異業種の自分の会社で、個々の企業の奉仕的な活動も含めてのことと考える次第です。「良いことをしよう」とロータリーは呼びかけています。

私は、身近な事をクラブだけでなく自分の会社でも出来る範囲で無理なく継続して実行してゆくことが、ロータリアンとして大切ではと考える次第です。

そしてここからは、地区からのお願い事項です。会長、幹事研修会（PETS）や地区研修協議会で当年度高橋ガバナーが、すでに申し上げておられますことが7つあります。会長卓話と重なるかもしれませんが、抜粋を申し上げますと

3. 会員増強・会員維持・クラブ拡大
→女性会員比率8%を目指すや40歳未満の会員の入会の促進
5. 青少年育成の推進インターアクト、ロータリーアクト、青少年奉仕、国際青少年交換などへの支援及び協力
6. ロータリー財団補助金の積極的活用と寄付へのご理解、推進
 - ・グローバル補助金の活用
 - ・年次寄付 150\$以上/1名
 - ・ポリオ寄付 30\$以上/1名
 - ・恒久基金 1000\$以上/1クラブお願いは上記金額ですが、若い会員の皆様は出来る時に出来る範囲で行っていただければと考える次第です。
7. 米山奨学事業への傘下と支援
 - ・奨学生支援 世話クラブ、カウンセラー引き

- 受け
• 寄付推進 12,000円以上／1名

そしてさらに追加が二つあります。

8. 強調事項としまして

- 会員増強の件に関しまして、地区の会員増強委員会は「1人の会員が1人を誘おう」と呼びかけています。そして高橋ガバナーは、PETS研修の場にも女性会員比率8%を目指すと申し上げております。会員増強ご関係の皆様、色々ご議論をされて何卒、宜しく願い申し上げます。
- 又、高橋ガバナーからは、マイロータリーへの登録率を50%達成を目指す。とあります。こちらは、情報委員長さんの所管でしょうか？ 宜しく願い申し上げます。

9. 追加としまして

- さらに10月22、23日の岐阜都ホテルにて開催されます地区大会に、各クラブ会員の1/2以上のご登録をお願いしたいとの事です。1/2以上の登録というのは、2016年の劔田ガバナー時の高山での地区大会での決議事項であります。どうか皆様、宜しく願い申し上げます。

最後にガバナー補佐としましての今後のスケジュールでございますが、中勢伊賀グループとしまして8月4日(木)に伊賀4クラブの高橋ガバナー公式訪問を、9月14日(水)には津4クラブのガバナー公式訪問を行わせていただきます。ホストクラブ様にはお手順をお掛けします。

そして10月1日(土)には、伊賀市にあります「ヒルホテル サンピア伊賀」にて、上野東ロータリークラブがホストクラブとなりまして「IM」を行わせていただきます。三重大学の西村訓弘教授に「地域貢献」についてご講演いただく予定です。生憎とコロナ禍でもありご参加者数を10名とさせていたいております。何卒、フルエントリーをお願い申し上げます。

さらに 10月22、23日の地区大会を経まして、12月の期中クラブ訪問、来年5月、6月には期末クラブ訪問をさせていただく予定です。

結びとしまして、いち早くワクチン接種や医療技術が進み、新型コロナウイルスが収まり、再び地域の方々に明るさが戻り、津南ロータリークラブの会員の皆様が、2022-2023年度を、楽しい、価値ある一年間にさせていただきますようお願い申し上げます。私の期首クラブ訪問のご挨拶、卓話とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございます。

クラブ協議会

於：「オホーツク」

